令和４年７月６日

奥州市教育委員会
教　育　長　　髙　橋　　勝　様

要　望　書

黒石地区振興会
会　長　　佐　藤　邦　憲

黒石・姉体小学校統合に係る黒石地区の要望

1873 年・明治 6 年の開校から 150 年の時を経て、2023 年・令和 5 年度を以って黒石小学校の歴史は幕を閉じることとなりました。とかく閉校という言葉は、「最後の・・・」などの文言でくくられ、様々な行事が感傷的に語られる機会が多いようですが、当黒石地区の子供たちにとっては期待に胸をふくらませ、より広い世界へと歩みを進める素晴らしい機会となることを願い、地域一丸となって支援していく所存であります。

令和 2 年 10 月に黒石小学校で行われました市教育委員会主催の統合についての説明会以後、当黒石地区振興会が中心となり統合により生ずる変化にどのように対応していくべきか、関係者の意見の集約に努めてまいりました。

これらの協議の場では、

1. 姉体小学校に通学することとなる子供たち全員が、学校を始め地域の方々にあたたかく迎え入れられ、楽しい学校生活を送ることができること
2. 通学および放課後の生活において、全員が安全に過ごせる環境を準備すること

上記 2 点を最優先事項とし、合わせて統合後の小学校施設の利活用も含めた話し合いを行い、「黒石・姉体小学校統合に係る黒石地区の要望」としてまとめた次第であります。

何かとご多用の折とは存じますが、要望事項の実現に向け特別のご配慮並びに寛大なご指導を賜りたく、切なる願いを込め、要望書を提出させて頂きます。

記

1　校名・校章・校歌について

校名につきましては、黒石・姉体両校の伝統を継承するような新たな名称を望む声も聞かれますが、「姉体小学校」という地域に根付いた名称を尊重し、その変更を安易に求めるべきではないと考えます。

校章・校歌につきましては、統合の記念事業として新しい校章・校歌を創

ることを提案致します。このことは姉体小学校の現在の校章・校歌を決して軽んずるわけではなく、新しい姉体小学校の発足、門出に相応しい新たなデザイン記章、楽曲 を創ることで、両地域住民の全てが子供たちの新たに始まる学校生活を応援する環境・ムードを醸成できればと考えます。

２　統合前後の子供たちへのケアについて

統合前につきましては、両校児童の交流の機会をできるだけ多く設けていただき、子ども達が新しい環境での学校生活にスムーズに移行できるようなご配慮をお願い致します。

また、統合後に於いては、クラス編成をはじめとし、例えば、初年度は少ない人数の学年の子供たちが同じクラスになるような配慮など、少人数から多人数の新しい環境下に置かれる学校生活へのきめ細かい精神面でのケアをお願い致します。

３　スクールバスについて

ルート、乗降場所など子供たちが学校生活で不便を感じることなく、安全で安心できる運用を配慮した運行をお願い致します。

また、帰り便は、低学年と高学年の終業時間の違い等にもご配慮を頂くと同時に放課後児童クラブを利用する児童、しない児童など放課後児童クラブとの兼ね合いをも考慮に入れた対応をお願い致します。

４　放課後児童クラブ・放課後の子供の居場所について

現在の黒石放課後児童クラブは定員 40 名となっており、低学年から高学年まですべての希望者を受け入れております。姉体児童クラブも含め市内の他の児童クラブの場合、受け入れ対象は低学年のみとなっており希望しても入れない児童がいるようです。

統合後、現行制度と同様の児童クラブが黒石に存続した場合、スクールバスの運用との兼ね合いもあり、どれくらいの人数の保護者が利用を望むのか等の不確定要素はあるものの、地域としては、放課後の子供たちの安全な居場所

の確保という観点から、希望者全員を受け入れることができる現行制度の児童クラブの存続をお願い致します。

５　統合による服装等の問題について

服装に関しましては、地域要望と言うより現在の保護者の方々の中の要望、意見という形で記述させていただきます。

・運動着の色の統一については、色が異なることで子供が委縮したり、イジメにあう事のないよう皆と同じ服を着せたい。
・運動着の購入に際しては何らかの金銭的な補助をお願いできれば有難い。
・卒業式の際の卒業生の服装は中学校の制服で統一をしていただきたい。

６　子供会育成会活動について

姉体地区は、子供会育成会連合会の組織に加入しておらず、また子供会育成会は一学区単位に一組織であることなどを考え合わせると、黒石地区として育成会とは別の子供会組織を創り、これまで行ってきた寺子屋、ジャンボカルタ大会などの事業を実施する方向で検討すべきかと考えております。

どのような組織作りが良いのか、運営のための予算をどのように調達するかなど、様々な点について今後検討する必要があります。ご意見、ご指導を頂けますようお願い致します。

７　統合後の小学校の建物・グラウンドの利用について

統合後の校舎の利用方法につきましては、地元住民に雇用、福祉等の面で好影響を及ぼし、地域の活性化につながるような事業が展開されることを望む一方、地区センターや放課後児童クラブなどの機能を併せ持つ施設としてリニューアルされることを希望いたします。

黒石地区センターは昭和 58 年に建築され、地区の第一避難所に指定されております。建物の老朽化に地域住民の高齢化が重なり、施設に対する改善要望（玄関先へのスロープ敷設、施設内トイレの追加、廊下の手すり設置な

ど）も出されております。体育館においては度重なる震災による損壊・修繕を繰り替えし、今年３月の地震による被害で今も使用不能の状態にあり、地域活動拠点としての機能を果たしていない現状にあります。

市地域づくり推進課による「地区センター等の個別施設計画」の当地区センターの項には、「建設後概ね 35 年を経過する令和６年度を目安に大規模改修を行います。なお、付設体育館は建替え及び大規模改修を行いません。」と記載があります。

また、本要望項目４で触れました黒石放課後児童クラブの個別施設計画（市健康こども部こども家庭課）には「施設の老朽化のため、令和６年度を目途に施設を廃止し、令和７年度までに解体撤去します。事業は黒石小学校へ開設場所を移行します。」との記載があります。

これらの事から、黒石地区センターの機能を統合後の黒石小学校の建物に移行すると共に災害時の避難場所として活用することを望みます。さらに、黒石放課後児童クラブも併せて移転することを希望するものです。

グラウンド、体育館につきましても地域住民の運動施設として開放していただき、運動会をはじめ体育会行事の各種競技大会の開催にも利用できるようご配慮をお願い致します。

「黒石地区・小学校統合に係る諸問題を検討する会」

構成メンバー

黒石地区振興会：　会長　副会長

黒石地区振興会・地域振興部会：　部会長　副部会長

黒石地区行政区長連絡協議会：　会長　副会長

黒石小学校区子ども会育成会連合会：　会長　副会長

黒石小学校 PTA：　会長　副会長

黒石教育後援会：　会長　副会長

奥州市立黒石放課後児童クラブ：　所長

奥州市立黒石放課後児童クラブ護者会：　会長　副会長

奥州市立黒石小学校：　校長

未就学児童の保護者の方

事務局：　黒石地区センター